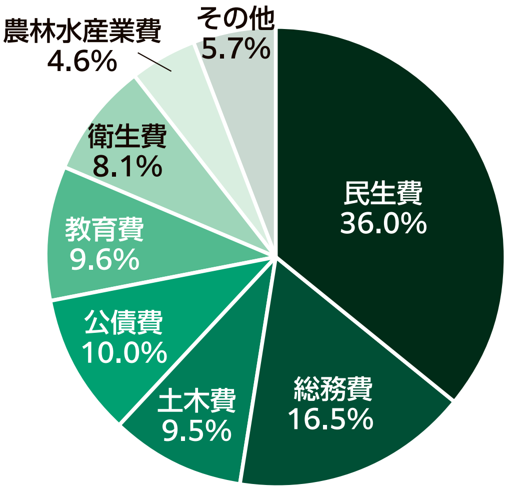
令和７年度予算概要

一　般　会　計

歳出（使うお金）



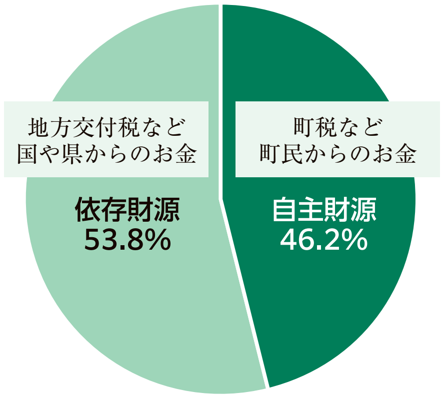
民生費	児童手当や高齢者、障がい者など福祉のためのお金
総務費	庁舎や財産などの維持管理などのためのお金
土木費	道路や橋などの公共整備のためのお金
公債費	町が借りたお金の返済
教育費	学校や教育のためのお金
衛生費	ごみ処理、予防接種などのためのお金

予算の総額

118億1,250万円

（前年度比＋２億2,290万円）

歳入（入ってくるお金）



特　別　会　計

国民健康保険事業	介護保険事業	後期高齢者医療
国保加入者の医療や特定健診、保健指導など	介護サービスの給付、介護予防事業など	主に75歳以上の方の医療に対する手続きや保険料に関する事務など
26億8,237万円	**25億8,074万円**	**3億3,956万円**

詳　細　は

令和７年度予算の詳細は、矢巾町ホームページに掲載されています。
こちらのＱＲコードからご覧ください。

企　業　会　計

		水道事業会計	下水道事業会計	
			公共下水道事業	農業集落排水事業
収益的	収入	8億8,144万円	8億4,204万円	2億8,847万円
	支出	7億7,159万円	8億2,599万円	3億225万円
資本的	収入	2億1,347万円	3億2,622万円	9,747万円
	支出	6億9,980万円	5億5,618万円	2億1,309万円

用語説明		
	収益的	水道水の供給や汚水の処理の予算
	資本的	施設の新設や再整備の予算

※水道・下水道事業会計は複式簿記で会計処理を行う企業会計なので、記載の方法が異なります。

討論

討論とは、議会の会議において採決の前に他の議員の賛同を得るため、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することをいいます。

反対　小川文子議員

町職員の早期退職者が多く、労働環境の改善がさらに必要である。デマンド型公共交通はもっと町民の声に寄り添い抜本的な対策が必要である。町立煙山保育園は保育機能を維持すべきである。

以上３つの観点から、反対討論とする。

賛成　村松信一議員

令和７年度も、各課が取り組もうとする施策には特筆すべきことが多くある。小さな施策の積み重ねが、やがて大きな事業の成功につながるという考えを大切にし、細かな事業の確実な実行に期待する。また、各課が連携して施策を共同検討し、多くの効用も考えて行動されることを期待する。

予算決算常任委員会審査報告

令和７年３月11日から13日までは、各委員が総務分科会・産業建設分科会・教育民生分科会に分かれ、それぞれが所管する事業の予算内容について慎重に審議しました。また、３月14日は全体を総括して質疑を行いました。

審議を尽くした結果、３月18日は予算決算常任委員会の昆秀一委員長が、８項目の意見を付し可決すべきとの意見書を議長に提出し、その後の本会議では、賛成多数で可決しました。

８つの意見を付して可決

1 ふるさと納税は町の魅力と返礼品の工夫、リピーター掘り起こしを行い、財源確保に努められたい。

2 予約型乗合バス（デマンド交通）は、土休日運行と停留所の見直しなどを行い、利便性向上に努められたい。

3 令和７年度から開校する南昌みらい高校など、交流人口が増加することから、防犯灯や交通安全施設の充実に努められたい。

4 情報システム標準化・共通化事業においては、改修完了後、速やかに業務フローやコストを見直し、業務効率化に努められたい。

5 農商工共創協議会の活性化で、農業と担い手支援・育成を強化し、後継者対策に努められたい。

6 田んぼダムの取り組みは、災害防止の観点からも組織の拡大および実行の強化に努められたい。

7 スクールカウンセラーなどの増員を行い、児童生徒に寄り添った支援・相談体制の拡充に努められたい。

8 いじめ事案から10年の節目を迎え、事案の風化が懸念される。改めて悲しいことが起こらないよう、防止対策を推進されたい。